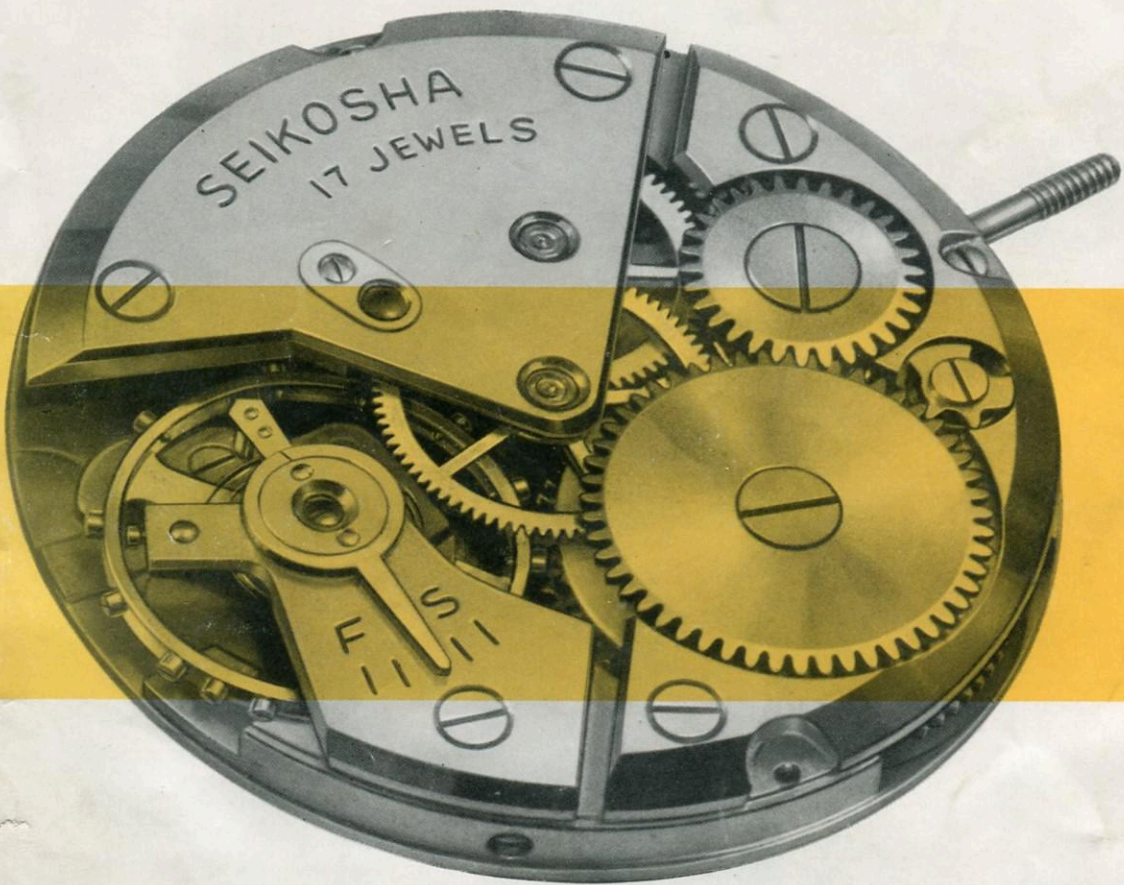


SEIKO NEWS

NO. 1



1956 秋

発刊のことば

毎々御引立に預り厚く御礼申し上げます。日頃の御愛顧により精工舎製品も性能、数量共に戦前を凌駕する事が出来ましたが、未だ充分皆様の御期待に添う事が出来ず申し訳なく存じて居ります。精工舎に於きましては全力を挙げてこの御期待に添うべく努力致す所存で御座いますので今后共御支援を賜り度御願い申し上げます。

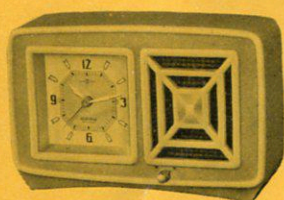
さて今回セイコー・ニュース第一号を御手許に御届け申上げる事になりました。内容も御覧の通り不備の点も御座いますが、新製品の紹介と共に商店経営の各方面の権威者の記事により少しでも皆様の御役に立ちたいと存じて居ります。就きましては今后皆様の御教示により一層充実したセイコー・ニュースと致したく念願して居ります。



目次

発刊のことば.....	2
新製品紹介.....	3
買物の前味を作れ 新保民八.....	4 ~ 5
新製品 マーベルについて.....	6 ~ 7
秋から冬にかけての店頭装飾 古口謙二.....	8 ~ 10
トピックス.....	11
取扱いのヒント.....	12
おしらせ.....	12

新製品 紹介



2 吋オルゴール付ビー
オルゴール No. 260 夜光

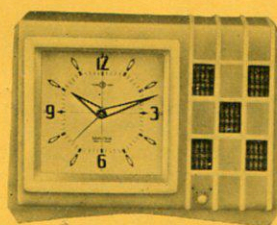
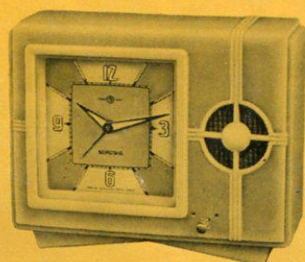
クリーム色銅 ピンク色銅
グリーン色銅 グレー色銅

文 字 板 2 吋
高 3.2 吋
巾 4.9 5 吋

2 ½ 吋オルゴール付ビー
オルゴール No. 258 夜光

クリーム色銅 薄緑色銅
ピンク色銅 グレー色銅

文 字 板 2.5 吋
高 3.6 5 吋
巾 4.6 吋



オルゴール付ビー三種

セールス・ポイント

○ 三種類共従来のものに比して小型に出来ておりますから贈物などに最適です。

曲 目

峠の我家	乙女の祈り
トロイメライ	白鳥の湖
エリーゼの為に	アニーローリー
家 路	ユーモレスク

2 ½ 吋オルゴール付ビー
オルゴール No. 259 夜光

クリーム色銅 薄緑色銅 ピンク色銅
グレー色銅 黒色銅

文 字 板 2.5 吋
高 3.5 5 吋
巾 4.8 5 吋



壁
掛
に



3 吋裏鈴ビー目覚
コメット No. 399 夜光

クリーム色銅 グリーン色銅 ピンク色銅
グレー色銅 小豆色銅

文 字 板 3 吋
長 5 吋
巾 3.3 吋

セールス・ポイント

○ お机の上に、壁掛に大変便利に使えます。
○ すべらないよう裏蓋には4個のゴムを入れてあります。
○ 二石入ですから性能の良いことは勿論です。

お机の上に

買物の手帳

新保民八

感情を動かすもの

自分の持物の中で、一つだけは誰にでも誇れるものであり度い。それは自分自身を世の中で一番かわい、と思う人間共通の心理の表われだと思ふ。自己嫌悪におち入っている人は別だろうけれど、そんな気持は誰にもあると思う。いや自己嫌悪の情すらも、自らを愛しむ人間性の変った現はれだと説く心理学者もある。私たちはそのように自分の心に自らをたのむよりどこを求めゐる気持の表はれとして、自分の持物に、何かしらほの／＼とした自信と、愛情を感じる共通の性格をもっている。時計はそうした人間心理を一番強く表はすものとして第一番に考えられるものではないだろうか。そしてお友達などから――立派な時計だね。――

も多くの客の感情を動かす商品である。

けれども現在の時計屋さんには、果してこのような時計の持つ商品としての特長を生かして商売をしているだろうか？

名人肌の専門家

私の知っている時計屋さんの多くは、どちらかというところ、左甚五郎式の名人肌を商売自慢にしている。なる程、自分の腕を信じて、十二分に専門家としての誇りを持つことは、私も大いにすゝめたいことだが、少くとも店を張って商品を売るためには、名人肌の技術を売るより、商品としての時計を売った方がよい。

よい時計を見分ける技術、こわれた時計を直す腕、故障の原因を見極めて、すばやくそれを直してくれる専門家としての技術の優れている店であることは、何よりも先づ望ましいことだが、それだけで商売のできた時代はもう過ぎたと思う。私はそのように優れた腕

前を持った専門家が、自らの誇りを深く包んで、更に一歩進んだ新しい商売のコツを身につけてくれたら、きっとその店はもっと、今より以上に繁昌するだろうと信じている。

楽しい前味―広告

新しいよい時計をほしいと思う

新聞の広告、雑誌の広告、さてはラジオの放送で或いは友達が誇らしく見せたあのような時計、行きつりのショウ・ウインドで見たすばらしい時計など、お客はその時計を持った時の、ほの／＼とした楽しさを心に描いて、あなたの店にただ、漫然として入って行くのだろうか、嘗て時計を直してもらった時、とても印象がよかったというようなこと、お友達に聞いたからというようなこと、或いは自分の勤めに通う道にある店だからというような漫然とした理由で入って来る客も決して少なくないであろう。だがその人たちをも含めて、あなたの店に入って行くことが、何か楽しみであり、一種の誇りであると思はせる感情が、お客の心にあふれていたらあなたの店はどれだけ繁昌するか分らない。

どうしたらお客がそのような気持になってくれるか――それこそ広告である。

よい広告は買物の前味を作り、お店を選ばす大切な動機を作るものだ。私はそれを鰻の蒲焼の香りだという。

蒲焼のおいしさを思はせ、のどに生つばを

湧かせるものは、あの香ばしい匂いである。その前味に引かれて「食べたい」という食欲を増すのだ。広告はその前味を作る。

知らせることが第一

あなたにふさわしいよい時計が入りました。どうぞ見に入らして下さい。

と知らされただけでも、お客はその知らしてくれただけに好感を持つ。沢山の人々の中から自分をマークして知らせてくれたということではお客はほのかな誇りを感じる。その時計が紳士としての貫録を示す一種の表徴にも思はれている場合など殊にそうだ。時計店の場合宛名広告は強い魅力を持っている。そのようなことを知らせることが広告なのである。小売店の御主人の中には売出しとか、景品とか、福引きをしなければ広告はやれないと思っている人が多いのには驚ろく。本当は広告はニュースであって、その店の本来の使命を知らすことが一番よい広告になるのである。

こう考えてくると、時計屋さんの知らせることは沢山ある筈だ。

○新しい品が入りました、(新しいサービスのやり方)

○新しい使い方(手入れの仕方)をおしらせします。

○値が上ります。(値が下りました)

○流行の傾向(季節の贈答)

など、知らせ度いニュースにうづくする小

売店主である筈だ。

季節に合せた広告

新学期の御用意はお済みでしょうか。

かしこいお子さまでも朝夕の寝起きは、なか／＼時間通りに行きにくいものです。暑い夜の夜更しや遊び疲れて起き憎い朝の寝ざめに、かわい／＼めざまし時計を、御利用になれば、案外お子さまに、早起きを自主的に立派におやりになります。私ども夜更しの癖がつきやすい小売店の経験からわが子に応用してとても助かった「めざまし時計の御利用」を心からおす／＼め申し上げます。

×時間巻 △色 ○○円

このような宛名広告を受け取った客は、思わず微笑を感じるのではないか。

このためにどれだけのめざまし時計が売れるか、私にもそれは分らない。だが一つでも二つでも売れたら結果はすばらしいと見なければならぬ。何故か？

一つや二つのめざまし時計を売るために、千枚のハガキを印刷し、宛名広告をしたのでは引き合はぬとソロバン高い時計屋さんはどうだろう。

だが広告とはそうしたものではない。それによって買いに来た客が一人あったということとは、実際にはもつ／＼多くの人があなたの広告を通して、あなたの店の認識を新たに

してくれたということである。

——なか／＼気のきいた店だ。だが家にはめざまし時計があるから、今は要らない。だがこのように積極的に、私のところに好意ある呼びかけをしてくれる店は、きつ／＼とまじめな、積極的な、よい商人に違いない。今度何かほしい時にこの店に行つて見よう。

という一連の心理的プロセスが広告を受取った客の心に動くと思う。これによって潜在購買層を作ること——これが広告の大切な仕事なのである。

繁昌する店

人気質の時計屋さんを私は尊敬する。だが、その自負と自信をまわに包んで、もっとお店を知らす努力、あなたの店で買う喜びを前味に感じさせて、お客に選ばれる店になる努力をする店に私はより多くの期待を持つ。もっと広告をしなさい。時計の広告はメーカーがするものと思ひ込んでいる小売店はだん／＼時世に残される。商売をしている以上、自分の店、自分の天職の本りようを「知らせる」努力をつづけなければ、客は決してその店を選んでくれない。

広告をする店、買物の前味を作る店が、これから繁昌してゆくのである。

(商業界副社長)

Marvel



新製品

マーベル
に
ついて

時計名	慣性能率	重さ	重さと慣性能率との比
セイコー マーベル	mg·mm ² 2301	mg 132	17.4
ク スーパー	1432	113	12.6
MARTIN 10型	1514	117	12.9
OMEGA 12型	2270	130	17.4
FELCA 12型	2661	151	17.6

11½型の特長

最大の理由は精度を一層高めるにあります。即ち機械の大きさを大きくすれば精度上問題になる所に重点的な設計が出来るし、一方製造上では加工精度を高めることが出来ます。

例えば

○テンプを大きくして歩度の安定性が得られる。

○香箱を大きくして高い性能のゼンマイが得られる。

○歯車を大きくして歯数を増しトルク（回転力）の伝達のムラを防げる。

○受足を太くし、中心距離を大きくしてホゾ穴の通り違いを防げる。

等、精度を上げるための大きな利点を持っています。

又、最近の流行として男子用腕時計の大きさが一三型、一四型のような大型のものが要求されておりますので、ここに機械の大きさとして最も適当な11½型と定めたのです。

テンプ

は許されたスペースの最大限に外径を大きくして慣性能率の増大を計りました。その結果、従来の10型中三針SUPERと比較して慣性能率に於て六〇%、重さに於て二〇%の増加となっています。

即ち、重さがあまり増加していないことはホゾの摩擦抵抗がテンプの慣性能率に対して少くなったとも云えるわけです。

ゼンマイ

は一杯に捲き締めたときのトルクと二四時間経過したときのトルクとの差を出来るだけ少くするようにしました。

この結果

持続時間

四五時間以上

変動率

二〇% 以下

という非常に秀れた性能のものが得られました。

〇、一一二五×一、五〇×三五〇 $\frac{mm}{mm}$

歯車

ではトルクの伝達のムラを無くし効率を良くするため多くの研究がなされました。マーベルでは各種試験結果にもとづいて歯形を改良し歯車の歯を増して、噛合によるトルクの変動を最小限に抑えました。更に効率を良くするために、歯形の設計歯面の仕上等に大きな改善を行いました。

マーベルの輪列は次の歯数になっています。

車	箱車	二番車	三番車	四番車	ガンギ車
七〇	六四	七五	八〇	一五	
一〇	八	一〇	八	一五	

地板及び受

については、最近長足の進歩を遂げた生産技術によって互換性のある高精度のものが得られました。

石数は一七石以上とし耐久性を良くしました。

外観

については最近の流行をとり入れて特に薄型とし更に地板及び受に大きな斜面を取ってありスマートなデザインになっています。尚、マーベルは国産中三針で最も薄型です。

厚み 四、四〇 $\frac{mm}{mm}$

機能の点では

○巻真を地板内に入れて位置の安定を計った。

○キチ車と角穴車の回転比を大きくしてゼンマイの捲締めを容易にした。

回転比 五一：一五

取扱いについては

分解掃除などの時を考慮し容易に分解組立が出来ることと、それによって前の精度がくずれないように充分検討してあります。

○ネジ類は全般に大きくし、皿頭ネジの使用はなるべく少くして強度及び性能の向上を計り又、受ネジ、側止ネジ等は案内足をつけてネジ締を容易にしました。

○側止ネジは受に関係なく締めつけるようにしたため、側に機械を取りつけたまま受の取りはずしが自由になります。

秋から冬にかけての

店頭装飾

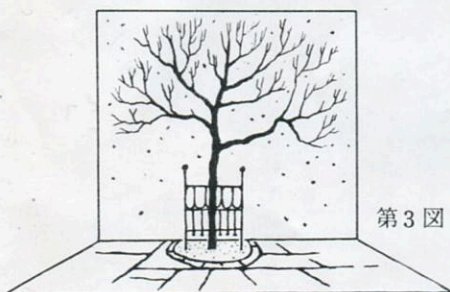
古口 謙二

ウインドディスプレイ



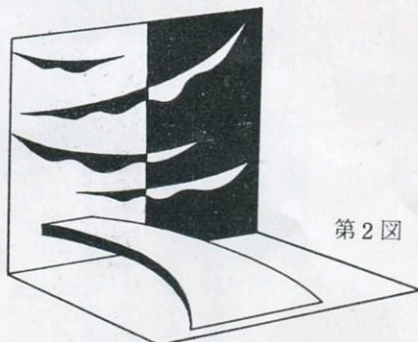
第1図

ウインドディスプレイ



第3図

ウインドディスプレイ



第2図

長くつづいた夏の暑い日もいつしか過ぎ去って、空が碧く澄み渡り、爽やかな秋風が吹く様になってくると、各商店ともその販売宣伝活動は一段と活況を増して参ります。

この文章をお読みになる皆様のお店は、おそらく主として時計・メガネ・カメラ・貴金屬類等を扱われる落着いた業種が多いことでしょうから、一般の商店の様な『〇〇宣伝大売出し』とか『秋冬物展示大即売会』といった賑やかで派手な雰囲気とは多少かけ離れたものでしょうが、しかしこうした落着いた雰囲気のお店の店頭こそ、買物をなさるお客様がそこはかと思ひます。これに陳列ことのできる様な、しつとりと上品なものでありたいと思ひます。これに陳列商品の関係でどうしても地味な感じになり易い傾向がある様ですから、始終、何かしら季節的な題材をより込んだ装飾とか、目先の変わった陳列スタンドとかを補助的に用いて商品展示にアクセントと変化をもたせることが尚更必要なのではないでしょうか。

これは勿論店頭にも店内にも共通して言えることなのですが、特に先づ通行する人の注意を惹く様な装置をショーウインドーの中にとり入れることが大切です。

扱、秋から冬にかけての装飾のモチーフとして比較的使われ易い季節的な題材といったらどんなものがあるかここで少し考えてみましょう。まず葡萄・柿・リンゴ・栗・梨・松茸など、秋の味覚から始まって碧空と白い雲。赤とんぼ・バッタ、かまきり、こおろぎなどの秋の虫類。ハイキング・ピクニック。紅葉・かかし・秋祭・秋の七草(すずき・桔梗・萩・なでしこ等)・コスモス・満月・菊・七五三・いちよう・落葉・枯木・吹雪・冬木立・スケート・スキー・水仙・寒菊・西の市・熊手・クリスマス・サンタクロースとこれに関連したもの(等々)いろいろと挙げる事ができます。

また秋から冬にかけての主な行事としては

十一月三日 文化の日

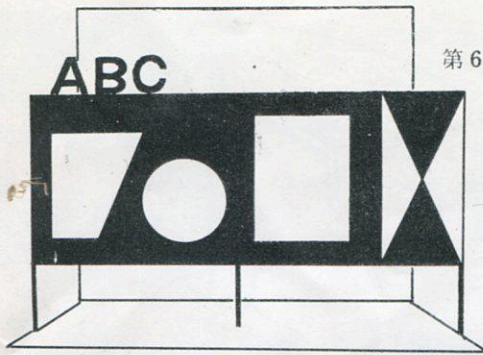
上旬 一の酉(酉の市)

十五日 七五三祝。

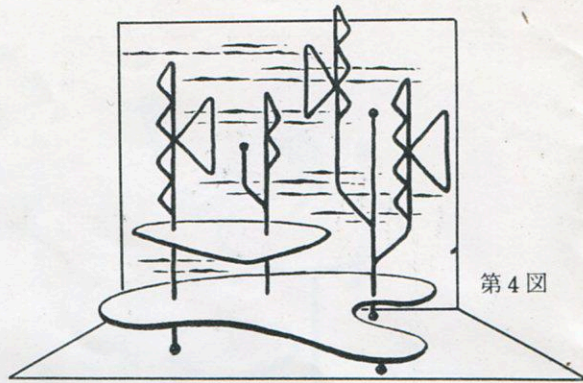
二十三日 勤労感謝の日

十二月十四日 歳の市始まる。

二十四日 クリスマスイヴ

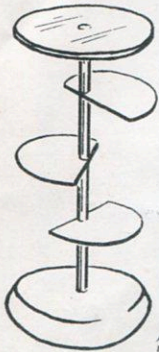


第6図

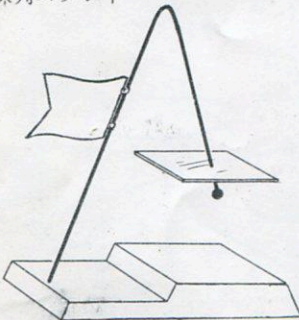


第4図

陳列スタンド

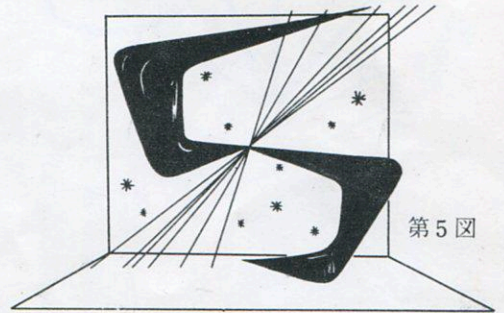


第1図



第2図

ウインドディスプレイ



第5図

などがあり、これらの行事を店頭装飾の題材として上手にとり入れてみることも一つの方法ではないでしょうか。

ではこれから以上に列記したいいろいろの題材の中からとって見た、いくつかのショーウインドー装置の作例を御覧に入れましょう。

いづれも飾窓の想定寸法は不定ですが、各々のお店のショーウインドーの寸法とにらみ合せて適当にあてはめて考えて頂ければよいと思います。

尚、別項の各種展示用スタンドは、これらの装置の中に適宜組合わせて使用することにより、いろいろと目先の変わった効果をあげられるわけであります。

★ショーウインドー図面の解説

(第一図) 木の切株・赤に黄色に色づいた木の葉、碧い空、白い雲、こういったものを主題としてでき上ったものです。バックは勿論碧空を連想するブルー、これに白い点線。バックを紙張りで色塗りにするか、カーテンにするかで感じも大分変わって来ましょう。カーテンの場合は白雲の線はほそいまっ白なカーテンロープかビニール紐でも使いましょう。

木の葉は鉄ロッドを溶接したものに色の紙が裂地を張れば面白いものができますが、経済的な面も考え、木の切株と共にベニヤの切抜でも結構効果はあげられます。ただ左右の切株だけは陳列台代用のために丸物でこしらえたいものです。床面には粗い白の碎石を敷きましょう。

(第二図) 碧空と白い雲。或いは又秋の静かな水面に立つさざなみを連想して頂いても結構です。床面の空白スペースに別項の展示台(第五・六図あたりのもの)を利用して頂けば面白い効果が得られましょう。

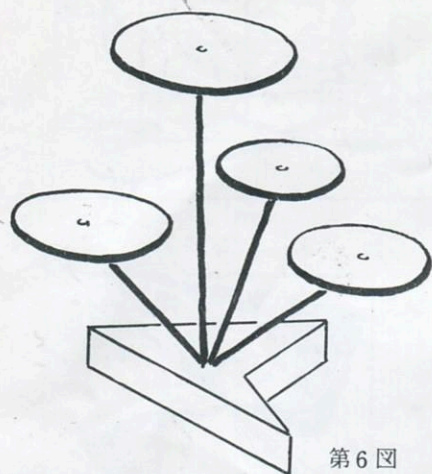
(第三図) 冬枯の立木とチラホラふり出した粉雪、といった情景です。雪の場合でしたらバックはタークグレーのカーテンか紙貼りにその色を塗る。それに綿をふわりとつまんではりつけると云う趣向ですが、またこがらしに吹き散る枯葉の表現であっても一向に差支えないわけです。その場合はバックは空の色。立木の枝にも枯葉を一ひら二ひら、寒そうな小鳥(ベニヤ切抜)でも一羽とまらせておけばまた別の風情も生れて云うと云うわけです。

立木はベニヤの切抜。柵は鉄線の細工物、ペープメントの上(床面に描き割り、又はベニヤ)に適当な展示スタンドを置いて頂きます。

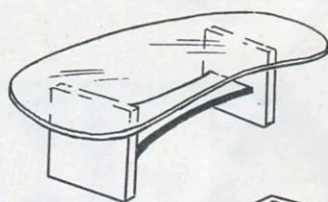
小さな飾窓で簡単な方法で……と云う場合ならば、これをそっくりそのままポスター風に仕上げてバックに利用するのも一法です。

(第四図) この抽象的な形から何を連想されようと、それは飾窓を見るお客様の自由ですが、要するにこれらの装置から「爽涼の秋」を何となく感じとって

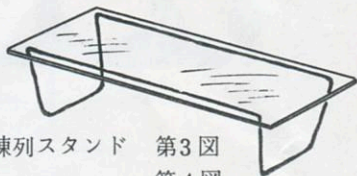
陳列スタンド



第6図

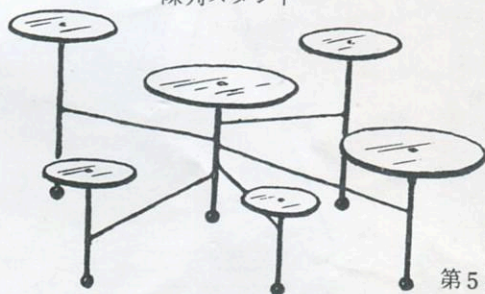


陳列スタンド 第3図



第4図

陳列スタンド



第5図

頂ければよろしいのです。そのためには澄んだ大空の色とか、いちようの葉の美しい黄色とか言った様な色彩構成の効果を狙う必要もありましょう。鉄ロッドと厚ベニヤの棚板です。

冬の季節になったらこの鉄ロッドの部分を実白なラッカー仕上にして、雪を冠った立木の表現に変えるという方法もあるわけです。

(第五図) これもまた抽象的な表現です。感じから言えば『秋から冬への夜空の感覚』とでも言ったところでしょうか。星形の個所を何かキラキラと光る材料で工夫すると面白いでしょう。鮮やかな色のビニール紐でこの細い線を構成します。中に用いるモチーフ次第ではクリスマス用のウインドーにもふさわしいものになるでしょう。

(第六図) これは季節的な題材ではありませんが、この図の中の四角形・円形などの中に適当なガラス棚をとりつけてバックに照明をつければ面白い陳列効果が得られるでしょう。飾窓の大きさの割合によってこの各部分のスペースを適当に割出すことが大切です。

尚第五・六・七図はいずれも工夫次第ではかなり大きなショーウインドーから、相当小さなものにもまで利用できる融通性があるデザインです。

(陳列スタンド図面の解説)

(第一図) 径四分から五分位の鉄丸棒を中心とした展示台です。旗の様な部分は薄いブリキ板に色を塗って文字をかき、シヨウカードの代用とします。

(第二図) ガラス又は厚ベニヤの棚板、中心はパイプ(金属)又は木の丸棒。その太さは高さに応じて適当に割出して頂きます。

(第三・四図) ガラス、ハードボード又はアクリル板の棚板、第三図の方の台座は木製。第四図の方は鉄の丸棒(経三分から四分位)を細工したものです。

(第五・六図) ガラス又はアクリル板・厚ベニヤ・ハードボード等を丸く切った棚板・脚部は鉄丸棒のラッカー仕上です。

以上季節的なモチーフを中心として秋から冬への装飾の考え方を申上げたわけでありませう。作例が少なくて要領を得ない点も多いかと存じますが、要は、こうした題材を『どこに』『どんな風に』とりあげて商品陳列の単調さを救い、変化とアクセントを与えるかであります。ただその際あくまでこれらの装飾は伴奏的存在であって、主題は肝心な商品であるという事をお忘れになってはいけないと思います。そのためには形態の構成(全体との割合)とか色彩の構成を充分に研究する必要があるわけでありませう。(日宣美会員・展示美術研究所長)



テレビに精工舎の時報

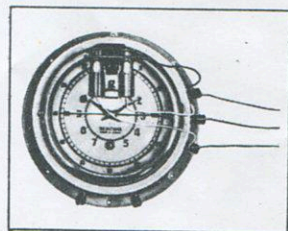
12月1日より名古屋中部日本放送テレビ・大阪テレビの二局が放送を開始しますが、東京の日本テレビ・ラジオ東京テレビ同様に正午・午後7時の二回、時報を精工舎提供で出すことになりましたからご覧下さい。



船時計

南極探検に役

写真の時計は、本年末南極探検予備観測に向う船にとりつけるもので、郵政省電波研究所の依頼により当舎が特別に設計・製作し、二個寄贈したものである。



これは観測時刻を教える親時計の役目と、三十秒毎に電気信号を出してマーク用の時計（観測写真上に時刻を写し出すための時計）を動かす役目をする。構造は並船時計を改造して硝子縁にランプ（二灯をつけたもので、ランプの光がプリズム、レンズ、文字板にあけた小穴、レンズの順で通り、輪振時計の機械体にとりつけたフォト・トランジスター（光を電気に変えるもので従来の光電管より高性能でしかもごく小さい）の受光面に当るようになっていて、秒針が対称形になっているので三十秒毎に光の入る文字板の穴を閉鎖すると電気信号がマーク用の時計に流れ込むようになっていてる。

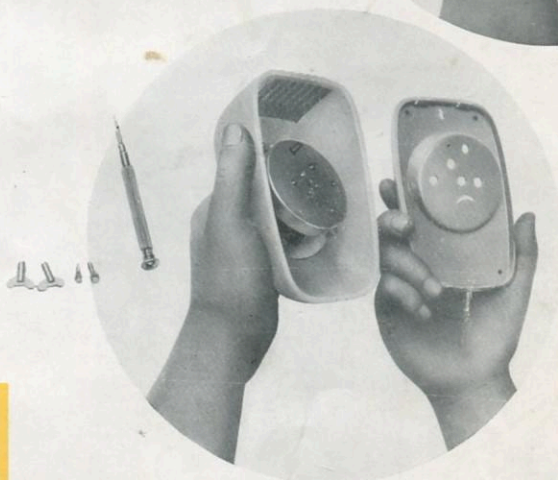
南極へ行くには赤道を通過するので設計と使用油について寒暖両面に対する充分な注意が払われている。

セイコーウオッチの歩み

製 造 年 日		製 品 名		製 造 年 月		製 品 名	
明治25年 5月	西歴1892年	★本所石原町に工場を設置		9年	1934年	提 18型 ストップウォッチ	
29年	1896年	提 22型 シリン (タイムキーパー)		9年	1934年	ク 17 ミニスター	
30年	1897年	ク 17型 シリン		12年 9月	1937年	★株式会社第二精工舎創立	
32年	1899年	ク 12サイズ エキセレント 7石		14年	1939年	腕 10型高級セイコーシャプレシジョン15石	
この間始めて 服部初代社長欧米視察を行う				14年	1939年	提19型 盲人時計	
33年	1900年	提 12サイズエキセレント 15石 17石		14年12月	1939年	★亀戸工場竣工移転	
明治39年	西歴1906年	服部初代社長 第2回目の欧米視察を行う		15年	1940年	腕 10型 中三針	
明治42年	1909年	提 16型 エンパイア		16年	1941年	{ 腕 17型 17石 (後に7石となる)	
大正2年	1913年	腕及び提 12型 ローレル		16年	1941年	{ クロノグラフ (時計付ストップウォッチ)	
3年	1914年	提 16型 オールド		16年	1941年	ク 19型 中三針	
3年	1914年	腕及び提 13型 マーシー		17年	1942年	経線儀 (クロノメーター)	
5年	1916年	提 17型 ライト		20年 3月	1945年	★戦災のため工場焼失	
6年	1917年	ク 16型 グレートエンパイア		20年11月	1945年	提 19型 鉄道時計 復活	
12年	1923年	腕 9型 グローリー		20年12月	1945年	ク 19型 中三針	
12年 9月	1923年	★関東大震災により工場焼失		20年 6月	1946年	腕 5 1/2型セイコー	
13年	1924年	腕 9型 セイコー (モリス型)		21年 7月	1946年	提 17型 エキストラフラット	
14年	1925年	ク 10型 セイコー (ビューレン型厚手)		21年 9月	1946年	腕 10型 セイコー	
14年	1925年	提 16型 新エンパイア		22年 5月	1947年	提 17型 ゼルマ	
15年	1926年	腕 10型 セイコー (モリス型薄手)		23年 3月	1948年	机上時計 ロスコップ	
昭和2年	1927年	ク 8型 セイコー (モリス型)		23年 5月	1948年	腕 10型 中三針	
4年	1929年	ク 9型及び10型ネーション		23年 7月	1948年	ク 8型 セイコー	
5年	1930年	ク 8型 パーロット		23年12月	1948年	ク 10型 SPセイコー	
5年	1930年	提 19型 鉄道時計 24型交換時計		24年 6月	1949年	提 ストップウォッチ	
6年	1931年	腕 5 1/2型 セイコー		25年 7月	1950年	腕 10型 本中三針	
7年	1932年	提 17型 高級セイコーシャ 16石 18石		25年 8月	1950年	ク 6型 セイコー	
8年	1933年	ク 17型準高級セイコーシャライト15石16石		26年 6月	1951年	ク 10型 カレンダー	
8年	1933年	腕 5 1/2型 セイコー		28年 5月	1953年	ク 10型 中三針セルフデーター	
				30年 6月	1955年	ク 10型 中三針ユニーク	
				30年 8月	1955年	ク 11型 自動巻 17石	
				31年 6月	1956年	ク 11型 中三針マーベル	

取扱いのヒント

コメット No. 399 の裏蓋をあけるには図のようにドライバーを裏蓋のくぼみにさしこんで開けてください。



プラスチック 枠に疵のついた時

① 枠の表面に疵がついた時
軽い疵は、コンパウンドワックス又はハミガキ粉を練って軽く磨くととれます。少し荒い疵は細いサンドペーパーか磨き粉で磨いた後前記のコンパウンドワックス或はハミガキ粉で磨くときれいに直ります。こんな時表面を綺麗にしようとガソリン、石油、キハツ、シンナーの類をつかってはいけません。却っておかされてきたくなります。

② ちょっと枠がかけた時の修理法は、プラスチック接着剤で修理して下さい。セメダインでは余りよい効果は望めません。

セイコーの技術講習会を引続き各地で開いておりますが、テキスト「腕時計の基礎知識」(A5判52頁)をご希望の方にお送り申し上げますから本社営業部宛、お申越下さい。

腕時計の基礎知識

第二精工舎

株式会社 **服部時計店**

本社営業部 東京都中央区銀座西四丁目
支店 大阪市東区博労町四丁目
出張所 福岡市下名島町四七